

岩国市子ども・子育て会議 会議録

概要 日時 令和2年2月19日(水) 14:30~16:00

場所 市役所2階 特別会議室

出席者 寺嶋委員(会長)、松重委員(副会長)、渡邊委員、中邑委員、安本委員
宮内委員、三浦委員、岸委員、江藤委員、川村委員、村川委員
前田委員、森本委員

欠席者 宮田委員

- 議事
1. パブリックコメントに対する市の考え方について
 2. 第2期岩国市子ども・子育て支援事業計画(案)について
 3. その他

会議録署名委員 松重委員・岸委員

配布資料

- ・会議次第
- ・第2期岩国市子ども・子育て支援事業計画(案)に対するパブリックコメントについて(回答案)
- ・第2期岩国市子ども・子育て支援事業計画(案)

議事の経過

1. パブリックコメントに対する市の考え方について

(事務局より資料に沿って説明)

会長 ありがとうございます。事務局からの説明について、ご質問やご意見のある方はいますか。また、追加情報等ありましたらご発言いただきますと助かります。いかがでしょうか。

委員 CAP(子どもへの暴力防止)プログラムについて、岩国市でも実施されていると思いますが、どのような取組がなされているのですか。

事務局 詳細は把握していませんが、教職員主導でされていると聞いています。

委員 親同士の交流の場に関連して、自主的な子育てグループの充実が大切だと思います。

自主的な子育てグループは岩国市内にはどの程度あるのですか。数は少ないのですか。

事務局 自主的である側面があり、市ですべてを把握することは難しいです。

委員 自主的な子育てグループを作る際に市から支援をする等のサポートがあれば、このようなグループが充実するのではと思います。保護者が自主的に集まれるグループが多くあれば、子育てのサポートになる気がします。私は25~26年前に埼玉県に住んでいたことがあります。大宮市では、自主的な子育てグループに対して予算を出してしまし

た。全国的に子育てグループがまだまだ少ないように思います。子育て中の保護者が互助の精神で助け合える機運ができればと思いました。

委員 発達障がいのあるお子さんの保護者が集まるグループはあります。最近の一般的な子育てグループは、気の合う少人数の保護者同士が集まることが多いように思います。昔とは状況が異なってきているようです。発達障がいなど、共通の悩みを有する保護者が集まることができるようなグループを作るには課題があるのかもしれませんが。

委員 スクールカウンセラーには、息子が小学生の頃からお世話になっていました。中学校に上がった時に別のスクールカウンセラーに代わってしまい、話しにくいようでした。そこで、学校に相談したところ、小学校の頃のスクールカウンセラーに戻していただけることになりました。可能であれば、小学生の頃から慣れ親しんだスクールカウンセラーに中学生以降もお願いできたらと思いました。

事務局 スクールカウンセラーについては、県が小中学校の児童に対応しています。ご意見のような事情があれば、派遣調整が叶うものもあると思います。

委員 学校に相談したところ、そのような制度があると聞きました。

委員 不登校の子どもの事例ですが、毎週1回、月曜日に、保育園ならば登園できるのではとの話があり、1時間30分ですが受け入れました。この取組の成果が分かりませんが、今では岩国市教育センターに行けるようになったと聞いています。この事例は保護者から学校に相談があり、学校経由でこちらに話が来ました。

委員 スクールカウンセラーは中学校に上がっても同じ人が良いと言われています。

委員 私は役員をしているのでたまたま学校とのつながりがあり、相談したらそのような制度があると聞きました。知らない人もいるので、そういう制度があることを周知できればと思います。

委員 システムの存在をもう少し発信していければと思います。

会長 スクールカウンセラーは足りているのですか。

事務局 詳しい事情は手元にありませんが、スクールカウンセラーの人に学校まで来ていただいて授業をするなどの対応をしていると聞いています。

2. 第2期岩国市子ども・子育て支援事業計画（案）について

（事務局より資料に沿って説明）

会長 ありがとうございます。ご質問やご意見のある方はいますか。前回の修正となります。

委員 3号認定I（0歳児）の特定教育・保育施設のところで、確保方策の値が令和4年度から増えています。しかし、見込み量は一貫して下がっているというのはどういうことですか。

事務局 見込み量はニーズ調査の結果や人口推計等を踏まえて見込んでいます。見込み量を確保するために、確保方策を設定していますが、令和3年度まで不足していたものを令和4年度以降、解消する計画としています。確保の方策は、就労するために子どもを預けたいという母親が増えていることを踏まえ、少し多めの数字を設定しました。

委員 令和4年度から余ってくるということですか。

事務局 ニーズに対して十分な確保策をとっていききたいということです。

委員 岩国市の出生数はどれぐらいですか。

事務局 年間800～900人ぐらいです。

委員 そのうち、ここにある数字ぐらい利用するということですね。

委員 1～2歳児はその倍の人数ということですね。すごいですね。

委員 確保するという事は、これまで以上に保育士が足りなくなってくる可能性がありますね。

事務局 1対3の割合で保育士が必要ですので、確保するという事は、保育士がそれだけ必要となってくるということです。

委員 放課後児童健全育成事業（放課後児童教室）について、今年度からの事業開始の状況などはどこを見れば読み取れますか。

事務局 計画書の45頁から記載しています。各教室の状況に応じて、外部委託や指導員の確保など受入体制の整備を図り、量の見込みに対応した実施体制を確保していく旨、記載しています。具体的には運用しながら検討したいと考えています。

委員 用語解説はとても良いと思いました。可能でしたら、本文中に巻末の用語が出てくるところに※印を付けていただければと思います。

事務局 ご意見を踏まえて※印を付けたいと思います。

会長 計画書の1頁に0歳児の数については記載がありますね。

会長 その他、軽微な修正については事務局で修正いただき、修正内容については会長一任でよろしいでしょうか。

（一同、同意）

（会長より答申）

（健康福祉部長からお礼）

会長 人口減少が深刻です。これまで以上に子育ての素晴らしさを広めていかなければならないと思います。ぜひ委員のみなさまからも情報発信をしていただければと思います。

3. その他

委員 初孫が生まれてもこの頃の祖父、祖母世代はまだまだ現役で働いています。祖父、祖母は育児休暇が取れません。

委員 私は母親に来てもらいました。

委員 昔はそれができていたのですが、現在は子育て中の保護者の親世代がまだ働いていて、それができなくなっているということです。

事務局 晩産化の傾向の中で、親の介護もするダブルケアの問題もあります。市には子育てを支援する事業もあります。25回が上限ですが、そういったサービスを利用されている方も増えています。

委員 報告書を書くために支援者の有無を聞いていますが、遠方にしかいない等、難しい方が多いようです。

事務局 少子化の影響で、周囲に子育てしている人がおらず、子どもへの接し方が分からないまま不安の中で子育てされている方が多いです。地域のみなさんが子育て中の家庭を見守ることができるような地域をつくるのが大切になってくるのかなと思います。

会長 他にはありませんか。では、以上で岩国市子ども・子育て会議を閉会します。ありがとうございました。